

予 算 要 求 資 料

令和3年度6月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 **新** 飛騨牛需要喚起・ブランド発信緊急支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 地産地消係 電話番号：058-272-1111 (内 2853)

販売対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2855)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

大型連休期間中の感染防止対策を盛り込んだ本県独自の「第4波」非常事態宣言 (R. 3. 4. 23) の発令と機を同じくして、それまで好調であった飛騨牛の市場価格が急激に落ち込んだ。(4月3週1,419千円/頭 → 5月4週:1,147千円/頭)

例年は夏場 (お盆時期) の需要増加を見越し、7月末に向けて市場価格は上昇傾向をたどるが、本県に対する政府の「まん延防止等重点措置」指定が6月20日まで延長されるなど先行きは厳しい状況であり、緊急的な需要喚起策を直ちに講じる必要がある。

また、長引くコロナ禍での外食自粛や営業規制等により、県外料理指定店での飛騨牛取扱量が減少している。(H30:127.5頭→R2:109頭 15%減)

これら店舗は、飛騨牛ブランドを全国に発信する重要拠点であることから、コロナ禍こそ一層の関係強化を図り、厳しい経営環境下での事業継続を支援する必要がある。

(2) 事業内容

① 県アンテナショップを活用した販売促進 (4,900 千円)

県内の飛騨牛販売指定店と連携し、岐阜県情報発信拠点運営事業共同体(代表株式会社オマージュ)に委託している県アンテナショップ「GIFTS PREMIUM」での販売キャンペーンを店頭及びオンラインで実施する。

その際、通常販売価格の2割相当分及び送料を県が負担することで消費者の購買意欲を高め、需要の喚起を図る。

[補助率] 10/10

② 全国に向けた発信体制の維持 (5,100 千円)

飛騨牛ブランドの全国発信体制の維持・発展に向け、県外の飛騨牛料理指定店への飛騨牛の現物支給を行う食肉販売事業者へ補助金を交付

[支給先] 飛騨牛銘柄推進協議会が認定する県外の飛騨牛料理指定店

※R3.3 現在 51 店舗

[支給内容] 1 店舗あたり飛騨牛 10 万円相当

※当該店舗へ飛騨牛を卸す食肉販売事業者へ補助金を定額交付

(3) 県負担・補助率の考え方

① 県産農畜水産物消費拡大の推進には行政や農業関係者に加え、県民や量販店、企業など県民協働による活動促進が重要であることから、県の経費負担は妥当

② 飛騨牛ブランドの全国展開には、県のリーダーシップが不可欠であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	①購入代金の割引、送料負担、オンラインショップ ^o の改修等 4,900 千円 ②10 万円×51 店舗 5,100 千円
合計	10,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（H31.3策定）
 - 3（1）④ 「ぎふブランド」づくり
- ・ぎふ農業・農村基本計画（R3.3策定）
 - 1（2）① 地産地消県民運動の展開
 - 1（3）② 大都市圏の需要喚起に向けた販売促進の強化

(2) 国・他県の状況

- ①近隣県（愛知県、三重県、富山県、福井県）：なし
- ②兵庫県において、銘柄牛指定店を対象とした需要喚起対策の事例あり

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）を活用した緊急措置のため、後年度負担はなし。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	飛騨牛需要喚起・ブランド発信緊急支援事業費補助金
補助事業者（団体）	①県アンテナショップを活用した販売促進 岐阜県情報発信拠点運営事業共同体（代表株式会社オマージュ） ②全国に向けた発信体制の維持 県外の飛騨牛料理指定店へ飛騨牛を卸す食肉販売事業者
補助事業の概要	①県アンテナショップを活用した販売促進 （目的）大型連休以降、飛騨牛の市場価格が落ち込んだことから緊急的な需要喚起策を講じる （内容）県アンテナショップにおいて2割引きでの飛騨牛販売キャンペーンを店頭及びオンラインで限定実施する ②全国に向けた発信体制の維持 （目的）コロナ禍の影響が長期化する中、県外の飛騨牛料理指定店の事業継続を支援する （内容）食肉販売事業と連携して飛騨牛の無料提供を緊急的に行う
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容）定率補助（10/10） （理由）①飛騨牛の市場価格の回復は、飛騨牛販売店の経営維持のみならず、飛騨牛生産者の経営維持を図るために必要であり、県が全額負担 ②飛騨牛ブランドの全国展開には、県のリーダーシップが不可欠であり、県が全額負担
補助効果	飛騨牛の市場価格上昇、県外飛騨牛料理指定店の継続確保
終期の設定	終期 本年度限り （理由）新型コロナウイルス感染症対策としての緊急措置のため

（事業目標）

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
- ・ 本県独自の「第4波」緊急事態宣言の発令と機を同じくして、急激に落ち込んだ飛騨牛の市場価格を、7月末までにGW前の価格まで引上げる。
- ・ コロナ禍で厳しい経営環境下にある飛騨牛料理指定店での事業継続を支援し、飛騨牛ブランドの全国発信体制の維持・発展を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	目標	目標
①飛騨牛の枝肉価格（千円/頭） ※岐阜市食肉地方卸売市場	1,147 (5月第4週)		1,419 (7月末)
②県外の飛騨牛料理指定店	51店舗 (R3.3)		51店舗 (R4.3)

(前年度の成果)

--

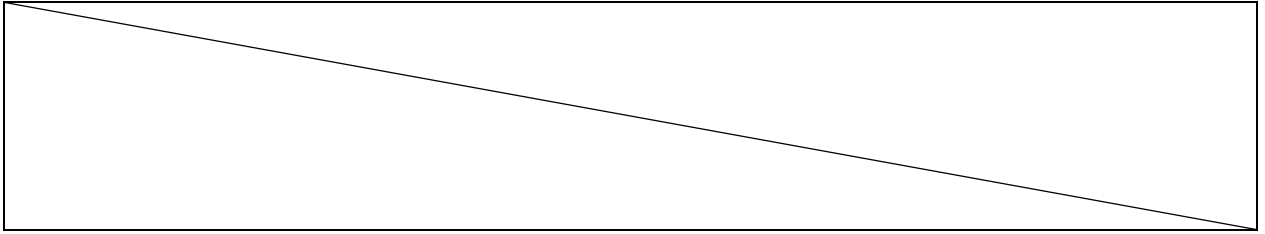
(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・新型コロナの影響が長期にわたる場合は、更なる追加対策の検討が必要となる。 ・飛騨牛の需要喚起・ブランド力向上は、市場価格や農家手取りに直結するものであり、継続的に動向を把握する必要がある。

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まん延防止等重点措置」指定が延長されるなど、先行きが不透明な中、本県独自の「第4波」非常事態宣言と機を同じくして急激に落ち込んだ飛騨牛の市場価格の回復は、飛騨牛販売店の経営維持のみならず、飛騨牛生産者の経営維持を図るために必要であり、県の経費負担は妥当である。 ・県外の飛騨牛料理指定店は重要な発信拠点であり、コロナ禍こそ一層の関係強化を図る必要がある。飛騨牛ブランドの全国展開には、県のリーダーシップが不可欠である。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価)	

(事業の見直し検討)



(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止
(理由)

